

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網で0~2回目、秋芽網で3~4回目となっています。栄養塩は、全域で概ね減少傾向で、知多西岸地区北部と西三河地区東部を除く地区ではやや少ないまたは少ない状況です。植物プランクトンは知多西岸地区で珪藻類を主体に増加傾向で、それ以外の地区は少ない状況が継続しています。  
水温は平年よりも1℃高めに推移しています。食害の被害は少ないとの声も聞きますが、防除網などの対策をしばらく継続してください。あかぐされ病は一部の地区で見られます。病勢の拡大を予防するため、支柱柵では十分な干出をかけるとともに、伸ばしすぎず早期摘採を心がけましょう。

2 気象・海況

<b>&lt;水温&gt; 1月10日</b>			<b>&lt;水温&gt; 1月11日</b>			<b>&lt;潮位偏差&gt; 1月10日</b>		
2~3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	9.4℃	漁生研 (-3.0m)	10時水温	11.8℃	名古屋港	5日平均※	+3 cm
	平年差	+1.0℃		平年差	+1.0℃		偏差	+12 cm

※1月6~10日までの平均

**<栄養塩・赤潮>** (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部: やや多い、中南部: やや少ない~少ない	なし	植物プランクトンは少ない~やや多い
知多東岸地区	やや少ない~少ない	なし	植物プランクトンは散見
西三河地区	多い~やや少ない	なし	植物プランクトンは散見
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: μg/L) 多い:121~、やや多い:81~120、やや少ない:41~80、少ない:~40

※植物プランクトン基準(単位:細胞/mL) 多い:10,000~、やや多い:5,000~10,000、少ない:1,000~5,000、散見:100~1,000、ほとんどいない:~100

**<気温動向の予測>** (気象庁週間天気予報より 予報期間:1月11日から1月17日まで)

今後1週間	期間の前半から中盤にかけては最高気温の高い日が多い見込みです。一方、期間の後半は、最高気温が平年よりも低い日があるでしょう。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病・障害 その他
知多西岸地区	冷蔵:0~2回 秋芽:3~4回	冷蔵:500~900枚 秋芽:300~1,000枚	一部で色落ち	一部で カモ、魚	一部であかぐされ
知多東岸地区	冷蔵:0~1回 秋芽:4回	秋芽:700~1,000枚	色調低下傾向	ほとんどなし	目立った病害はない
西三河地区	冷蔵:1~2回	150~600枚	概ね良好	一部でカモ	目立った病害はない
東三河地区	秋芽:3回	1,500枚	概ね良好	なし	目立った病害はない

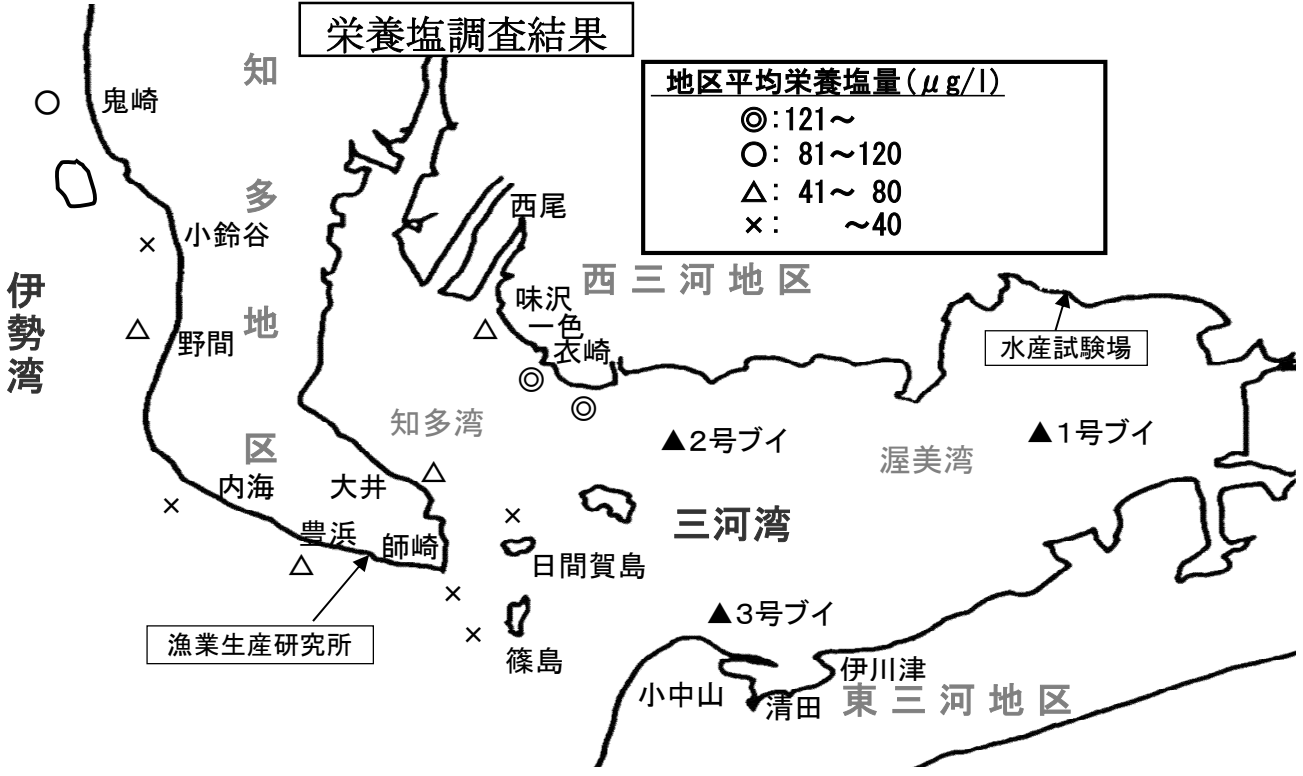
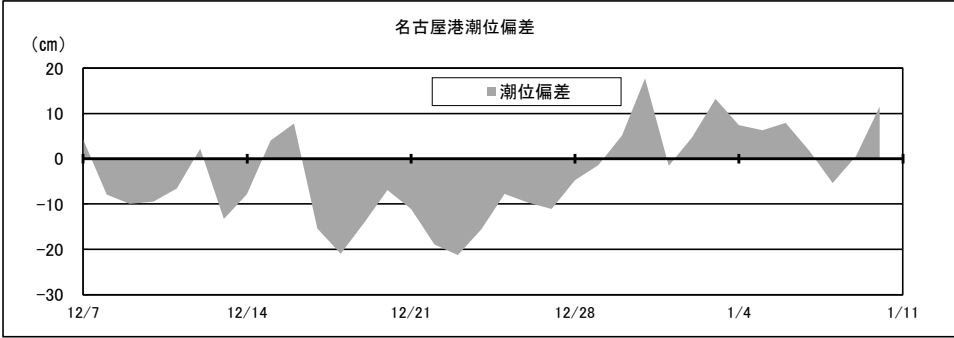
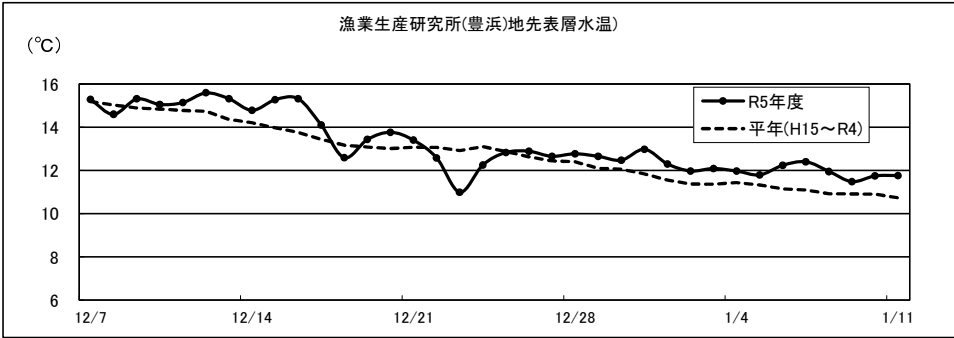
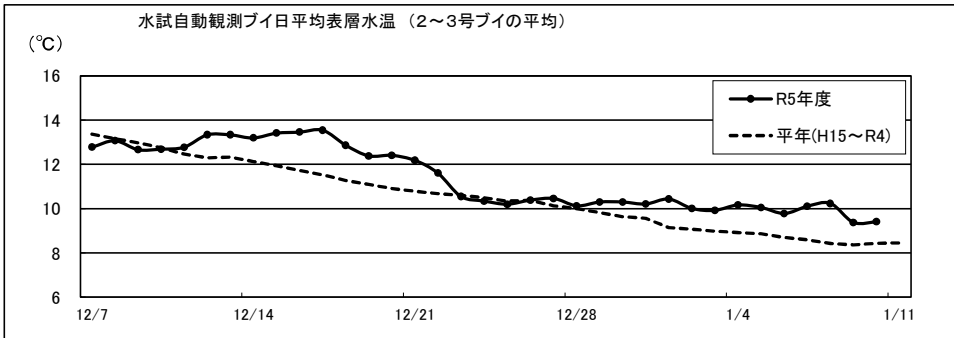
4 今後の管理

- あかぐされ病のため、支柱柵での適正な干出や早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 食害が発生している漁場では、防除網等の対策に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。  
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ  
次回は1月18日(木)発行予定です。

# 伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：1月11日（木）、東三河：調査終了  
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会